

あいち戦争展にご参加・協力を

今年の「あいち平和のための戦争展」が左記のチラシのように行われます。愛知県連は8月15日(金)15:00、折込チラシのように、

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうに」(日本国憲法前文)

2025 あいち・平和のための戦争展

戦後被爆80年特別展 「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」展
名古屋空襲展 ~軍需工場の昔といま~

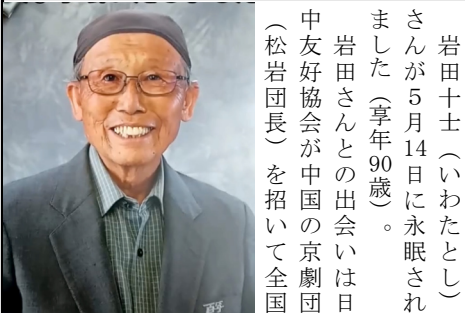
とき 8月14日(木)~17日(日) 10:00~17:00
入場受付は終了30分前まで

ところ 市民ギャラリー矢田 (パナソニックホール4階受付)
市民ギャラリー矢田 (東文化小劇場)

入場料 一般 500円 高校生以下、障がい者(介助者含む) 無料

主催:2025 あいち・平和のための戦争展実行委員会
〒461-0004 名古屋市中区東1-22-26 民生会館4F 電話052-931-0070

岩田十士(岐阜県連元理事長)を偲んで



岩田十士(いわたとし)さんが5月14日に永眠されました(享年90歳)。岩田さんとの出会いは日中友好協会が中国の京劇団(松岩团长)を招いて全国

巡回公演をされたときだった。個人的には8年前の2017年1月に上海、北京旅行に同行させていただいた。上海では、中国の国宝ともいわれる中国書道界の重鎮・呉昌碩の曾孫である呉越・呉昌碩記念館長にお会いし、あわただしく北京に飛んだ。北京では京劇団長の松岩さんに胡堂にある劇場を案内していただき、岩田さんが日本留学中にお世話された錚々たるメンバー(文化局の方や雑技団の団長など)

そこで会員の皆様にはぜひ足を運んでいただきたく存じます。また、前売りチケット(500円)を用意しますので、周りに広めていただくこと、都合で参加できない方も、カンパとしてのチケット購入をお願いいたします。▼県連の展示は、この講演と同じ内容のもので、こちらの搬入と飾りつけは12日(火)の13:00です。また、会場当番も必要です。皆様のご協力をお願いいたします。

県連・支部 だより

- ▼熱中支部 5月10日に労働会館での支部総会で、大木一則さんの講演を行いました。
- ▼豊田支部 連続講座「中国力フェ」では、日中戦争をめぐり現代に入ってきた。参加者も多く好評です。
- ▼5月11日に「東海ブロック会議」を愛知県連で午後1時半から行いました。
- ▼各県連の進めている取り組みや、抱えている困難点などを出し合い、話し合いました。
- ▼10月18日~25日に愛知県連企画の中国旅行(今年は無慶と張家界)を計画しています。
- ▼8月3日(日)に駐名古屋中国総領事館が「中日平和友好交流会」を開催します。県連からも多数参加する予定です。
- ▼緑支部 9月8~14日に中国東北旅行を計画しています(今月末に募集締め切り)。5月25日(日)に総会と学習会を行いました。
- ▼7月19日(土)午後10時30分から開催しました。会費1500円
- ▼漢詩の会 7月27日・日曜日午後2時から(会費500円、会費無料) ※おかげさまで毎回7人ほどの参加があります。今は唐詩選を中心に毎回2首を丁寧に読み解いています。
- ▼中国語教室 (水曜日・初級講座)と木曜日・初級、中級、詳しくはお尋ねください)
- ▼4月から新規募集しています。新中国語会話を4月末から始めています。

中国ものしりコーナー

56② 餛飩(フントウン)

中国料理のメニューにある「餛飩(フントウン)」とは、日本の「ワンタン」です。ワンタンは、中国全土で食べられており、地域によって様々な名前が呼ばれています。中国北部を中心に多くの地域では、餛飩(フントウン)、廣東では雲吞(ワンタン)、四川では抄手(チャオショウ)、福建・台湾では扁食(ピェンシー)と呼ばれています。

漢王朝の頃、国境の北方をしばしば匈奴に荒らされ、人々は安心して生活することができませんでした。その当時、匈奴の部族には渾(フン)と屯(トウン)というとても残忍な首領がいました。人々は彼らが大麥(小麦)を包んでいたため、肉を包んだ餃子状の料理に彼らの名前と同じ音の「餛」の文字を当て、それを食べることで憂(憂鬱)さを晴らしていった。

